

令和3年度第1回八戸市生活支援体制整備推進協議会【結果】

1 意見聴取者

八戸市生活支援体制整備推進協議会委員 8名

2 意見聴取内容

議事1 通いの場マップ等の作成について

今年度の取組として、新たに通いの場マップの作成を行うことについて、御回答ください。

【結果】

- ・承認する 8名
- ・承認しない 0名

【委員からの意見】

- ・「どこでどのような活動がされているのか」を知る手段として確立する事は素晴らしいと思います。「通いの場」への参加促進の第一歩は積極的な情報発信と共有であると思います。またインフォーマルな社会資源を有効に利用する為にも非常に有効であると思います。
- ・別紙2を見ると情報提供に活用できる事がすぐ理解できました。さらに、空白の地域が一目でわかるので、これからの予定を考える上でも参考資料となると思い、マップ作成は必要と考えます。当面の間は内部資料という事ですが、掲載事項を整理した上で、「家庭内のごみの出し方」のように全市民に配布され活用されるといいのでは。
- ・通いの場の存在を知らない方もいらっしゃる、行ってみたいけど出かけること自体を億劫に感じている方々へ働きかけをどのように進めていくのかも考える必要があるかと思えます。
- ・インフォーマルなサービスの把握につながり、とても良いと思う。
- ・高齢者の方々が気軽に集える近場の場所は必要だと思う。高齢であっても車の運転をされている方々も多い為、マップがあれば自分の興味のある場所まで行き、行動範囲も広がる為。また、マップが作成されるとより多くの方々に周知できるのでは。開催中の写真等も添付できるとわかり易いと思う。

議事2 学生サポーター養成研修会の開催について

今年度の学生サポーター養成研修会の開催について、御回答ください。

【結果】

- ・承認する 8名
- ・承認しない 0名

【委員からの意見】

- ・現在「スケッター」と言う団体が、全国で学生中心に活動しております。学生の力を地域につなげることは大切だと思います。
- ・なぜ、生活支援体制整備事業に係るワークショップに、地域の学生が能動的に参加する必要があるのか、という「一番キモになる部分」が明確に伝える事が肝心ではないでしょうか。
- ・市の現状を知ってもらうと共に、ワークショップにも興味をもってもらえる若い学生達のための研修は、市にとっても有意義なものだと思います。
- ・いつ開催するかについては、感染拡大の状況をみながら、また、関係者、機関等の状況も見ながら決定していただければと存じます。現状では9月開催は難しいです。
- ・若い世代の方々に高齢化の問題を意識し、身近に感じ携わってもらいたい。また、介護職へも興味を持って頂きたい。

議事3 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催について

今年度の住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催について、御回答ください。

【結果】

- ・承認する 8名
- ・承認しない 0名

【委員からの意見】

- ・老若男女の地域住民が、地域の課題について考えたり、その解決方法について討論するのは「当事者意識」の面からもとても重要だと思います。特に学生さんたちが参加することで、将来の自分たちの地域に対する使命感や責任感をもった若者の意見を反映させることが出来たら素晴らしいです。
- ・「…になってから」も必要ですが「…にならないために」という予防はもっと必要だと思っていますので、このテーマは適当と思います。
ワークショップは、あとのフォローが一番重要と考えます。考えた事を実践し、実際に変わった事等をもう一度皆が共有できる場が必要ではないでしょうか。
- ・いつ開催するかについては、感染拡大の状況をみながら、また、関係者、機関等の状況も見ながら決定していただければと存じます。現状では9月開催は難しいです。
- ・同じ市内でも、地域毎で抱える問題は違うと思うし、実際に高齢者の方々に困っている事や手助けして欲しい事等、理解して頂きたい。

議事 4 生活支援コーディネーターの変更について

生活支援コーディネーターの変更について、御回答ください。

【結果】

- ・承認する 8名
- ・承認しない 0名

【委員からの意見】

- ・特になし

その他

【委員からの意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、あらゆる場面でコミュニティーの確立が難しくなっています。みんな個々に辛抱しています。そんな中で、確立することが可能なコミュニティーは無いもののでしょうか。
- ・コロナ禍の中で、各地域の活動はどういう状況でしょうか。

【事務局からの回答】

- ・各地域の活動について、このたびの新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大を受け、高齢者ほつとサロンなどに対して、9月中の活動中止を依頼しております。
また、公民館や老人福祉センター、老人いこいの家など、市が行う施設については、9月中は休館となっており、老人クラブや公民館自主クラブについても、活動が難しい状況であるかと思えます。
今後、感染状況を考慮しながら、これらの活動も徐々に再開していくことと思いますが、事務局といたしましても、本事業の実施に当たっては、これまで以上に感染対策を十分に講じるのはもちろんのこと、安全に実施できるような方法を検討することが必要になると考えています。